

# 09.

## 未来社会の 実験場

No5\_観光・食・文化

大阪・関西万博は、日本が「文化芸術立国」や「観光立国」、「農林水産物・食品輸出立国」としての魅力を世界に発信していく上で、極めて重要な機会である。一方で、これらは独立して行うのではなく、連携して施策を進めていく必要がある。万博を機に、日本全国に足を運んで、各地で食や文化の体験や滞在をしてもらうことで、日本のそれぞれの地域の魅力を認知してもらい、インバウンドの拡大や地域振興を実現する。具体的には、各地域ごとに食や文化等をパッケージ化することで地域ごとにユニークなストーリーを持つ観光コンテンツを作り出し、デジタルコンテンツ等も活用して発信を行うことで、各地域への誘客を行うとともに地域の魅力を伝える、という、新たなツーリズムを実装する。

また、「未来社会の実験場」として、会場内外で行われる新たな技術・サービス・システムの実証、会場内における伝統文化、アニメ等のコンテンツの発信に取り組む。

そして、東日本大震災という逆境から力強く立ち上がる被災地の姿を万博を機に世界に発信すべく、情報発信やツアーなどを実施する。

# 地域ツーリズム促進事業

## > 方針・実施概要

大阪・関西万博では、大阪・関西のみならず日本全国でも万博のテーマやコンセプトに即した様々な取り組みを実施する。具体的には、会場である夢洲での展示などだけでなく、デジタルコンテンツ等も活用することで、日本全国に旅客を送り、各地で食や文化の体験や滞在をしてもらうことにより、日本の各地域の魅力の認知を図り、様々な地域振興につなげる。

大阪・関西万博を機に、日本食、日本産酒類、農泊、復興など、各省庁が取り組んでいる振興策を連携させ、博覧会協会の「万博来訪者地域誘客モデル事業（仮称）」とも連携することで、地域ごとにパッケージ化したユニークなストーリーを持つ観光コンテンツを作り出し、万博の誘客効果を日本の各地域に波及させる。

## > 実装に向けた検討状況

- （実施期間） 令和4年度～
- （実施場所） 会場内：関連施策を実施する省庁のブース。会場外：国内各地域。
- （実施主体） 関連施策を実施する各省庁
- （予算） 令和4年度予算額：調整中

連絡先 内閣官房国際博覧会推進本部事務局  
03-3519-3613



## > 工程表



# DXの推進による観光サービスの変革と観光需要の創出

連絡先 国土交通省観光庁観光資源課  
新コンテンツ開発推進室  
03-5253-8924

[https://www.mlit.go.jp/kankocho/shisaku/kankochi/digital\\_transformation.html](https://www.mlit.go.jp/kankocho/shisaku/kankochi/digital_transformation.html)

## > 方針・実施概要

旅行者の体験価値向上、消費機会の拡大、来訪意欲増進等を図るため、デジタル技術と観光資源の融合等（DX）により新しい観光コンテンツを創出することで、観光サービスの変革と観光需要の創出を目指した取組を推進する。

各地域において、万博と連携し、デジタル技術を活用した新しい観光コンテンツを開発するとともに、当該コンテンツを取り入れた旅行商品を造成、販売する。

## > 実装に向けた検討状況

（実施期間）2021年度から

（実施場所）会場外（国内各地域）

（実施主体）観光地域づくり法人（DMO）、民間事業者等

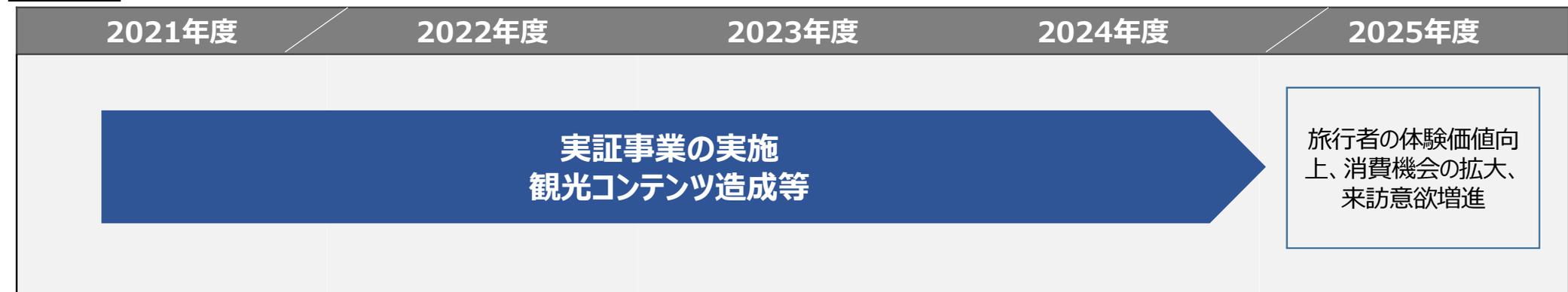
（予算）令和4年度予算額：781百万円

[https://www.mlit.go.jp/kankocho/topics05\\_000409.html](https://www.mlit.go.jp/kankocho/topics05_000409.html)



XR技術を用いた地域観光バスツアー

## > 工程表





# 未来社会・フューチャーライフに向けた被災地の復興や食文化の情報発信

## > 方針・実施概要

東日本大震災という逆境をばねに未来に向けて力強く立ち上がる被災地の情報発信を行うため、被災地の復興状況の放映や、会場と被災地を繋ぐツアーを実施する。また、震災の影響で失われた食や伝統が、熱意のある人によって再興している姿を発信するとともに、多くの来場者に被災地の食を知ってもらい、食べてもらい、持って帰ってもらう（会場内外での提供）。加えて、フードテックに関連する機能性食品などの展示・物販等も今後検討していく予定。

## > 実装に向けた検討状況

(実施期間) 開催前（機運醸成期間）から期間中

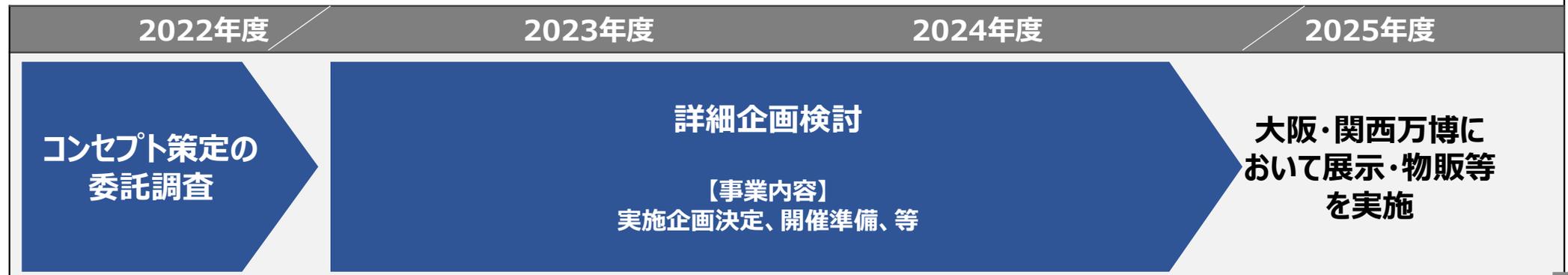
(実施場所) 会場内（催事会場（メッセ、大催事場、小催事場、ギャラリー）、フューチャーライフパーク、営業施設）  
会場外（被災地域へのツアー、大阪府内や首都圏等でのシンポジウム等）

(実施主体) 復興庁、経産省、関係省庁、地元自治体、地元企業、被災地参入企業

(予算) 令和4年度予算額： -



## > 工程表



# 日本食文化・農泊体験の発信

**連絡先** 農林水産省 新事業・食品産業部 外食・食文化課食文化室 (03-6744-2012)  
 農村振興局 農村政策部 都市農村交流課農泊推進室 (03-3502-0030)  
 鳥獣対策・農村環境課鳥獣対策室 (03-6744-2196)

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/eat/savorjp/>  
[http://www.maff.go.jp/j/nousin/kouryu/nouhakuishin/nouhaku\\_top.html](http://www.maff.go.jp/j/nousin/kouryu/nouhakuishin/nouhaku_top.html)  
<http://www.maff.go.jp/j/nousin/gibier/index.html>

## > 方針・実施概要

会場内外での日本食の体験、VR等を活用したバーチャルトリップ、万博近郊等の農山漁村におけるリアル農泊体験、ジビエの試食や野生鳥獣の利活用の取組の展示などを通じて、多様な地域の食やそれを支える農林水産業、伝統文化を発信することで、訪日外国人の誘致促進を図るとともに、農林水産物・食品の輸出につなげる好循環を構築する。

## > 実装に向けた検討状況

(実施期間) 開催期間中

(実施場所) 会場内 (フューチャーライフパーク、レストラン)、会場外 (農林水産物等の産地)

(実施主体) -

(予算) 令和4年度予算額：80百万円

(マーケットイン輸出ビジネス拡大支援事業のうち訪日外国人対応による輸出促進連携支援事業)

<https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/attach/pdf/index-47.pdf>

令和4年度予算額：9,752百万円の内数 (農山漁村振興交付金のうち農泊推進対策)

[https://www.maff.go.jp/j/nousin/kouryu/nouhakuishin/attach/pdf/nouhaku\\_top-41.pdf](https://www.maff.go.jp/j/nousin/kouryu/nouhakuishin/attach/pdf/nouhaku_top-41.pdf)

令和4年度予算額：10,003百万円の内数 (鳥獣被害防止総合対策交付金)

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozyu/higai/yosan/attach/pdf/yosan-59.pdf>



食文化体験・農泊の推進

## > 工程表

2022年度

2023年度

2024年度

2025年度

「農泊食文化海外発信地域 (SAVOR JAPAN)」の拡大の推進、訪日外国人向けの情報コンテンツの改善、デジタルプラットフォームの再構築の検討、ジビエの供給体制の強化・プロモーションの推進

万博開催に向けた訪日外国人向けのプロモーション強化及び発信手法の検討

大阪・関西万博において  
 農泊食文化海外発信地域  
 (SAVOR JAPAN) への  
 誘客

# 増大する食料需要等に応える代替肉・ 代替飼料などのフードテック事業創出の推進

連絡先 農林水産省大臣官房新事業・食品産業部企画グループ  
03-6744-7181

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/sosyutu/foodtech.html>

## > 方針・実施概要

代替肉・代替飼料や3Dフードプリンターなど、農林水産・食品分野で実装が期待される先端技術を活用した製品の展示を通じて世界に日本の技術力を発信することで、国内外の関心を高め、フードテック等を活用した新たな市場の創出に向けた取組を推進する。

## > 実装に向けた検討状況

(実施期間) 開催期間中

(実施場所) 会場内

(実施主体) フードテック業界

(予算) 令和3年度補正予算額：100百万円

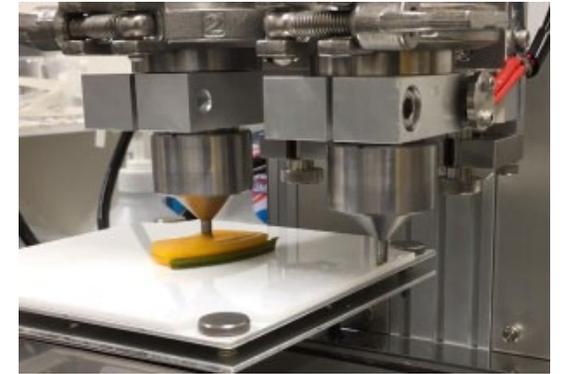
(食品産業の国際競争力強化緊急対策事業のうちフードテックを活用した新しいビジネスモデル実証に対する支援事業)

[https://www.maff.go.jp/j/budget/pdf/r3hosei\\_pr01.pdf](https://www.maff.go.jp/j/budget/pdf/r3hosei_pr01.pdf)

令和4年度予算額：30百万円

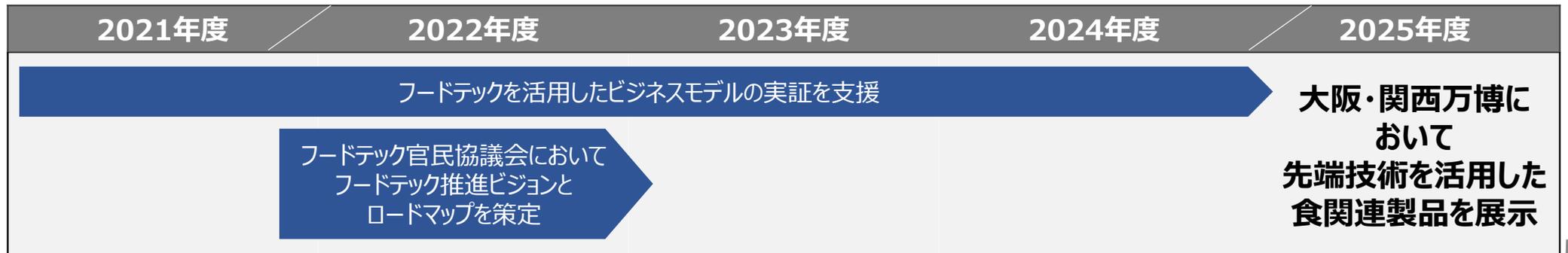
(新事業創出・食品産業課題解決調査・実証事業のうちフードテックを活用した新しいビジネスモデル実証事業)

[https://www.maff.go.jp/j/budget/pdf/r4kettei\\_pr33.pdf](https://www.maff.go.jp/j/budget/pdf/r4kettei_pr33.pdf)



3Dフードプリンター

## > 工程表



# 食品ロス削減の普及啓発

連絡先 消費者庁消費者教育推進課食品ロス削減推進室

03-3507-9261

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer\\_policy/information/food\\_loss/](https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/information/food_loss/)

## > 方針・実施概要

関係省庁と連携した消費者への啓発活動を行うことで、食品ロス削減に関連する取組を消費者が自分事として捉え、実践することを促進する。

## > 実装に向けた検討状況

(実施期間) 開催期間中

(実施場所) 会場内

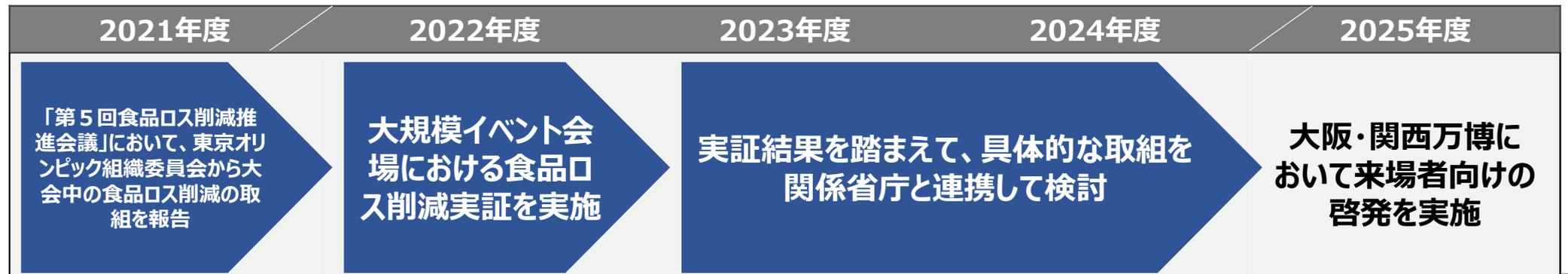
(実施主体) 消費者庁

(予算) 令和4年度予算額：41百万円の内数

[https://www.caa.go.jp/policies/budget/assets/caa\\_cms205\\_211224\\_02.pdf](https://www.caa.go.jp/policies/budget/assets/caa_cms205_211224_02.pdf)



## > 工程表



# 食品ロス削減に向けた飲食物の食べきり、フードシェアリングの徹底等の運動推進

連絡先 農林水産省 大臣官房 新事業・食品産業部 外食・食文化課 食品ロス・リサイクル対策室  
03-6744-2066

[https://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku\\_loss/business.html](https://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku_loss/business.html)

## > 方針・実施概要

飲食店における食品ロス削減キャンペーンの展開や、廃棄される恐れのある商品を抱える飲食店と消費者とをアプリ等でマッチングするなど、未利用食品を活用する「フードシェアリング」の運動を展開することで、会場や会場周辺の飲食店等における食品の廃棄を削減する。

会場内及び近郊の飲食店と連携し、アプリ等を通じて、未利用食品や期限間近の食品の情報を提供するとともに、当該食品の購入者に対してインセンティブを付与する（ポイント、ノベルティ、割引等）。

## > 実装に向けた検討状況

- （実施期間） 開催期間中
  - （実施場所） 会場内外
  - （実施主体） 会場内外の飲食店等
  - （予算） 令和4年度予算額：123百万円の内数（食品ロス削減総合対策事業）
- [https://www.maff.go.jp/j/budget/pdf/r4kettei\\_pr36.pdf](https://www.maff.go.jp/j/budget/pdf/r4kettei_pr36.pdf)



飲食店における食べきり啓発の様子

## > 工程表



# 「みどりの食料システム戦略」の実現に向けたプロジェクト

連絡先 農林水産省 環境バイオマス政策課  
(03-3502-8056)

(<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/index.html>)

## > 方針・実施概要

生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する「みどりの食料システム戦略」の目指す姿を具体化したモデル地区について、会場における技術や取組の紹介、リモート配信、現地ツアー等を通じて、環境と調和のとれた食料システムの姿を発信する。これにより、持続可能な農林水産業の発展、環境への負荷の低減に資する農林水産物等の消費を促す。



AI・ドローンによるピンポイント散布による減農薬・減肥料

## > 実装に向けた検討状況

(実施期間) 開催期間中

(実施場所) 会場内 (フューチャーライフパーク)、会場外 (モデル地区等)

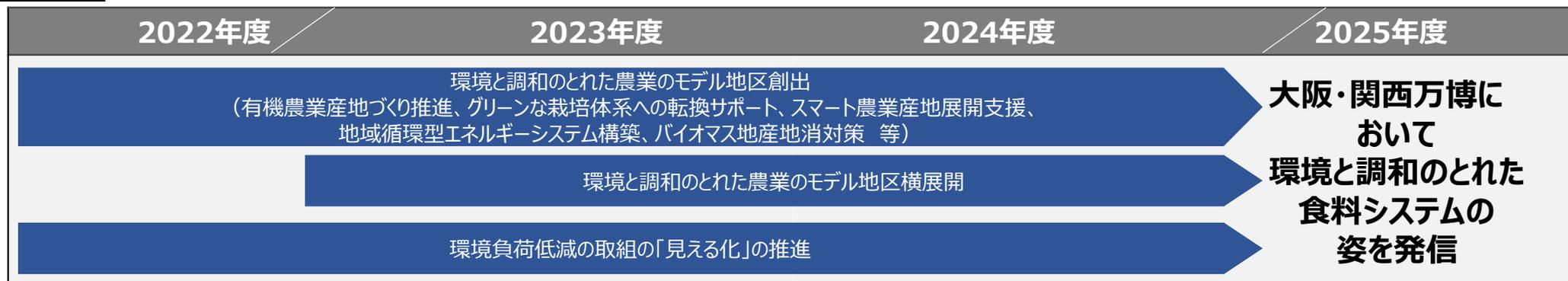
(実施主体) 自治体、民間企業等

(予算) 令和3年度補正予算額 2,518百万円 (みどりの食料システム戦略緊急対策事業)

令和4年度予算額 837百万円 (みどりの食料システム戦略推進総合対策)

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/attach/pdf/index-36.pdf>

## > 工程表



# 月面等における長期滞在を支える高度資源循環型食料供給システムの開発

連絡先 農林水産省新事業・食品産業部  
食品製造課食品企業行動室  
03-6738-6166

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/sanki/soumu/uchushoku.html>

## > 方針・実施概要

月や火星での長期滞在を可能とし、地球の課題解決にも貢献するQOLを重視した高度資源循環型食料供給システムの構築に向けた研究開発の取組状況・成果を発信することで、民間企業の参画を促し、研究成果の普及・事業化を図る。

## > 実装に向けた検討状況

(実施期間) 開催期間中

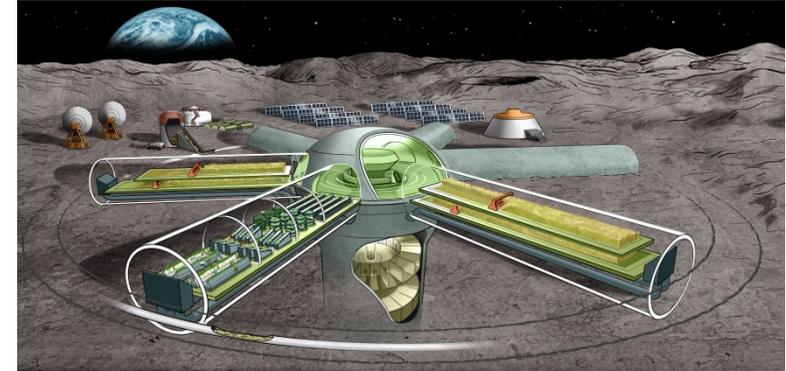
(実施場所) 会場内 (フューチャーライフパーク等)

(実施主体) 宇宙業界

(予算) 令和4年度予算額：7,330百万円の内数

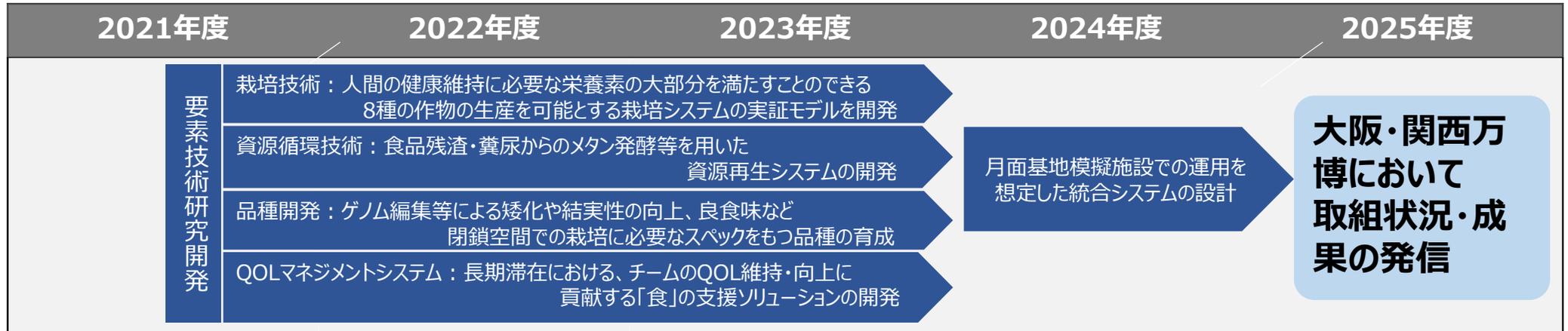
(月面等における長期滞在を支える高度資源循環型食料供給システムの開発(宇宙開発利用推進費))

<https://www8.cao.go.jp/space/comittee/02-jissyou/jissyou-dai11/siryou3.pdf>



月面における食料生産のイメージ  
資料：宇宙航空開発機構(JAXA)

## > 工程表



# 日本の食文化の発信

連絡先 文化庁参事官（食文化担当）

03-6734-4846

<https://www.bunka.go.jp/foodculture/>

## > 方針・実施概要

会場内外において、郷土料理等の日本の食文化を代表する料理に触れる機会の提供、日本の食文化の魅力伝える情報の発信等により、日本の食文化の保護・継承に取り組む地域への国内外からの往来を活性化し、これらの地域の活性化を促進するとともに、日本の食文化の振興を図る。

また、万博開催に向けて、国内外からの往来の活性化に向けた地域の磨き上げ（文化財登録等による食文化の明確化・価値化、観光コンテンツの造成等）を行うとともに、これらの取組を加速化させるため、食文化の保護・継承活動の機運醸成を図る。



## > 実装に向けた検討状況

（実施期間）令和4年度から

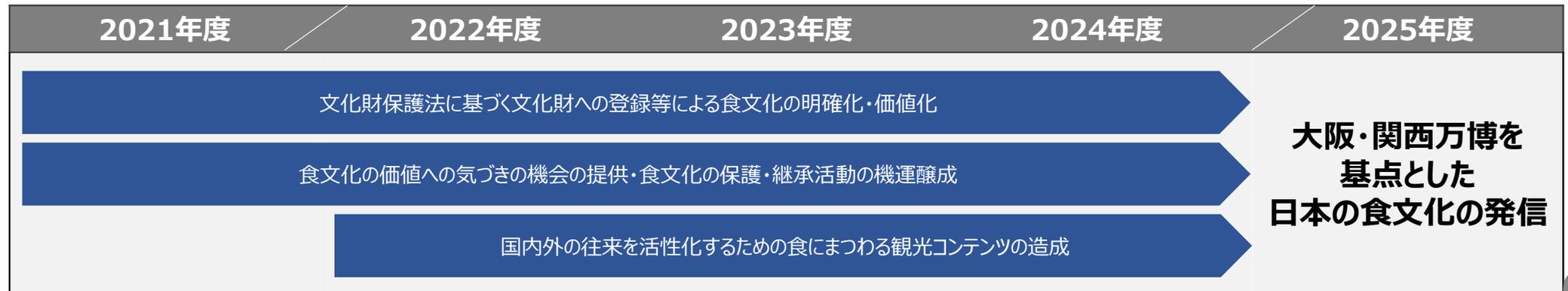
（実施場所）食文化の保護・継承に取り組む各地域等

（実施主体）食文化の保護・継承に取り組む民間団体等

（予算）令和4年度予算額：188百万円の内数

[https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunka\\_gyosei/yosan/pdf/93692701\\_01.pdf](https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunka_gyosei/yosan/pdf/93692701_01.pdf)

## > 工程表



# 日本産酒類の情報発信

連絡先 国税庁課税部酒税課輸出促進室  
03-3581-4161

## > 方針・実施概要

国際的プロモーション等による日本産酒類の情報発信、酒蔵ツーリズムの取組の支援を推進することで、訪日外国人の誘致促進を図るとともに、日本産酒類の輸出につなげる好循環を構築する。（あわせて、日本酒、焼酎・泡盛等のユネスコ無形文化遺産への登録を実現する。）

## > 実装に向けた検討状況

（実施期間） 2021年度から開催期間中

（実施場所） 会場内及び酒蔵ツーリズム等を実施する日本各地域

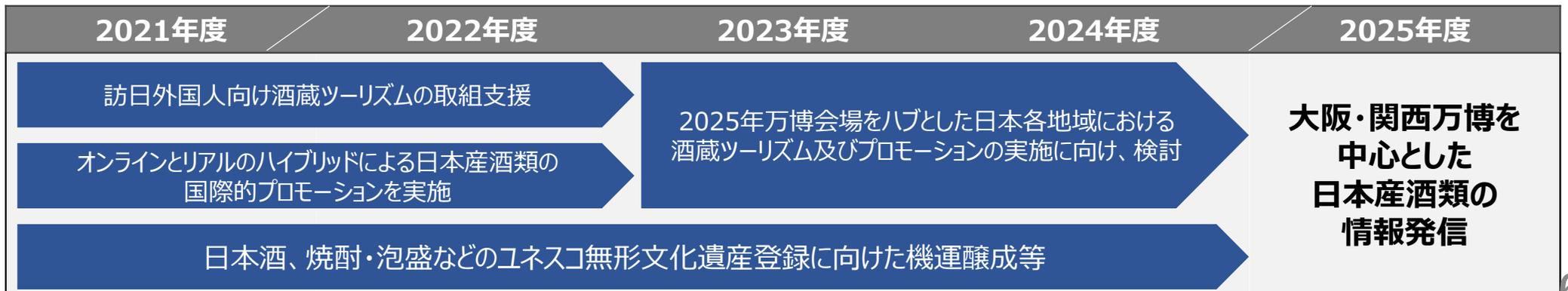
（実施主体） 酒類事業者等

（予算） 令和4年度予算額：1,420百万円の内数（酒類業振興事業のうち日本産酒類の情報発信）

<https://www.nta.go.jp/taxes/sake/pdf/0021012-175.pdf>



## > 工程表



# 被災地から生まれる未来社会に向けた 最新技術の情報発信

## > 方針・実施概要

東日本大震災という逆境をばねに未来に向けて力強く立ち上がる被災地の情報発信を行うため、被災地発の未来社会に向けた最新技術・サービスのデモや発信を行うとともに、被災地発の最先端の防災・減災に関する研究・技術に関する展示やシンポジウム等を実施する。加えて、原発事故による急激な人口減少が進行した被災地における、先端技術を駆使した新コンセプトによるまちづくりを、新たなまちづくりモデルとして展示する。

## > 実装に向けた検討状況

(実施期間) 開催前（機運醸成期間）から期間中

(実施場所) 会場内（催事会場（メッセ、大催事場、小催事場、ギャラリー）、フューチャーライフパーク）  
会場外（被災地域へのツアー、大阪府内や首都圏等でのシンポジウム等）

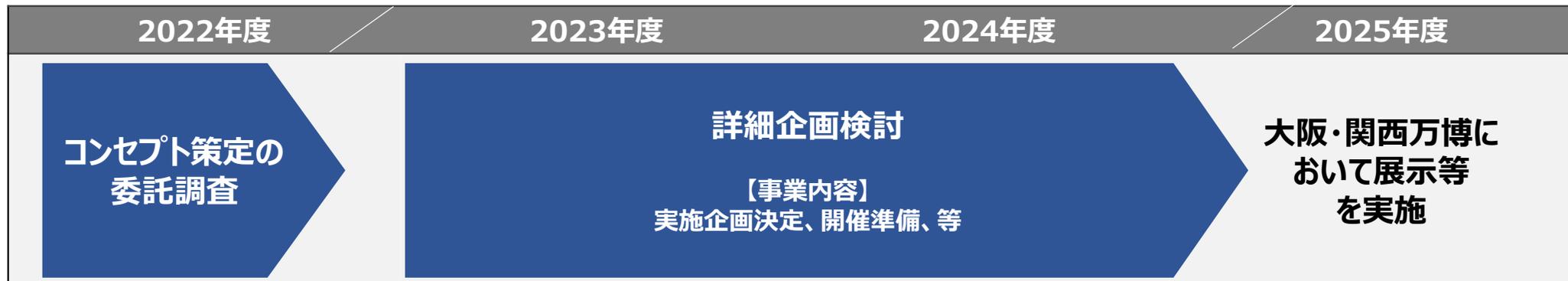
(実施主体) 内閣府（防災担当）、復興庁、経産省、国交省、関係省庁、地元自治体、地元企業、被災地参入企業

(予算) 令和4年度予算額：-

上：廃炉に用いるロボットアーム  
（廃炉・汚染水・処理水対策チーム会合／事務局会議（第98回）より）  
下：災害対応ロボット（東北大学 災害国際研究所提供）



## > 工程表



# 「日本博2.0」の展開

## > 方針・実施概要

縄文時代から現代まで続く我が国の文化芸術を「日本の美と心」をテーマに国内外へ発信し、多様な主体の参画と対話により、世界の多様性の尊重、普遍性の共有、社会課題の解決、経済社会の新しい成長、平和への祈りへとつなげる。

「日本博2.0」の5つのコンセプト

1. 最高峰の文化の祭典 伝統芸能、舞台芸術、音楽、メディア芸術、アートなどから厳選、国内外へ発信
2. 地域の魅力を総動員 「広がり」と「奥行き」を持った真に満足できる観光、地域のファン作り
3. 最先端のバーチャル体験 メタバース、NFT等の先端技術を活用した、ボーダレスで新しい鑑賞・体験
4. 若い力で未来を拓く 未来を生きる若者が参加、障害者芸術・多文化共生の推進
5. ソフトパワーで日本の心を発信 海外アーティスト、文化施設等と連携して協調・交流の促進

## > 実装に向けた検討状況

(実施期間) 令和4年度から

(実施場所) 全国各地

(実施主体) 地方公共団体等の公的機関、非営利団体、文化施設、民間事業者等

(予算) 令和4年度予算額：1,440百万円の内数

<https://www.mlit.go.jp/common/001459395.pdf#page=23&zoom=auto,-31,601>

連絡先 文化庁文化経済・国際課新文化芸術創造室

03-6734-4467

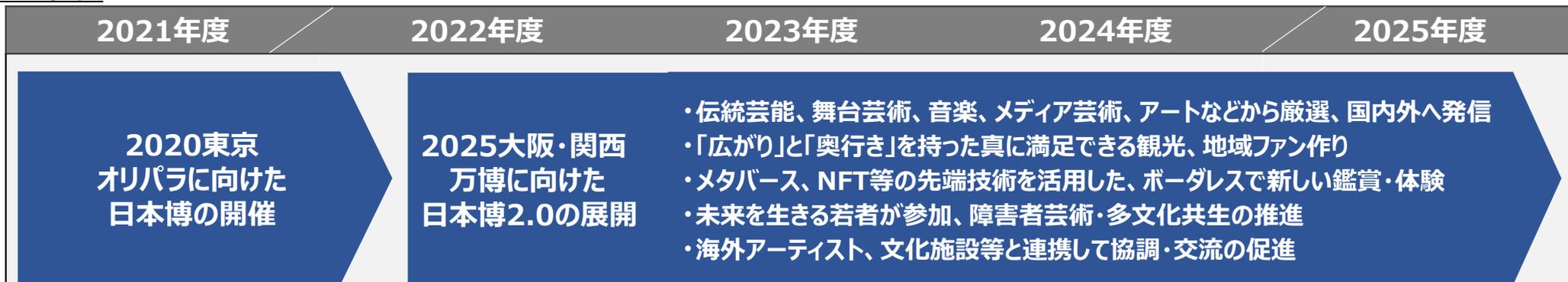
<https://japanculturalexpo.bunka.go.jp/>



ELEVENPLAY×Rhizomatiks  
Research×Kyle McDonald  
"discrete figures" (2018)  
photo by Suguru Saito



## > 工程表



# クールジャパンの総力を結集した機運の醸成と戦略の改定

連絡先 内閣府知的財産戦略推進事務局

03-3581-4225

[https://www.cao.go.jp/cool\\_japan/](https://www.cao.go.jp/cool_japan/)

## > 方針・実施概要

クールジャパンに関係する省庁の施策や関係する人々の取組を総動員し、万博開催による新たな文化の創造を、無形の遺産の1つとして次世代に継承・発展させるため、2019年に策定した「クールジャパン戦略」の改定を行う。

## > 実装に向けた検討状況

(実施期間) 開催期間前から期間中

(実施場所) 会場外、オンライン

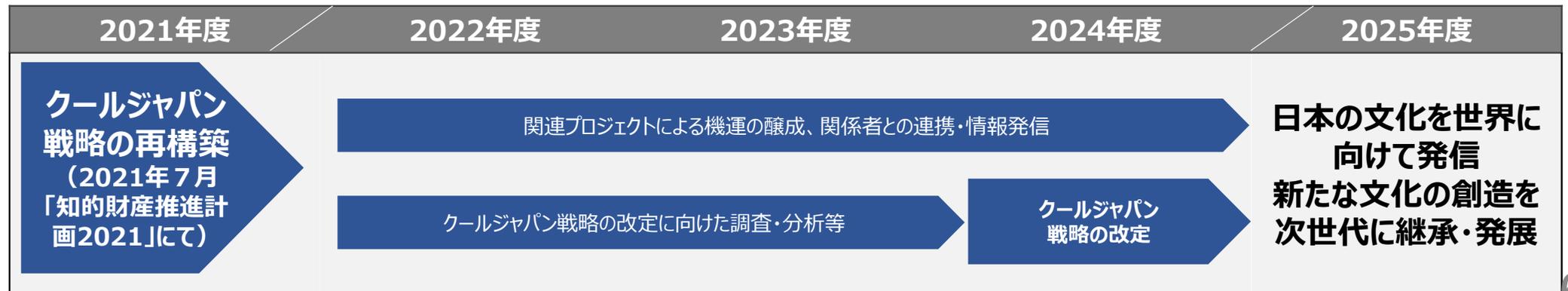
(実施主体) 業務委託先 (予定)

(予算) 令和4年度予算額：66百万円

[https://www.cao.go.jp/yosan/soshiki/r04/yosan\\_gai\\_r04.pdf](https://www.cao.go.jp/yosan/soshiki/r04/yosan_gai_r04.pdf)



## > 工程表



# 日本のアニメ等のコンテンツの対外発信

**連絡先** 経済産業省商務情報政策局コンテンツ産業課  
 担当課室の電話番号:03-3501-9537  
<https://archive2021.tiffcom.jp/>

## > 方針・実施概要

日本のアニメを始めとする魅力あるコンテンツを最新技術を活用して海外に発信するため、バーチャル万博に、コンテンツを紹介する展示ブースを設けることや催事を想定（国際映像見本市(TIFFCOM)事業の一環）。

展示ブースの中には、Web3.0時代における新たなエンタメの在り方として、分散型自立組織（DAO）を活用した優秀事例作品の展示ブースを設けることも想定。

（※）ドバイ万博では、“バーチャルEXPO”を公開。オープニングセレモニーにはオンラインプラットフォーム上で300万人以上が視聴。

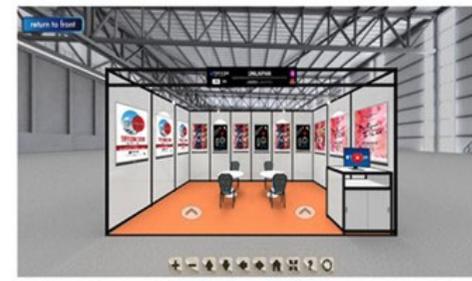
## > 実装に向けた検討状況

（実施期間）1ヶ月程度

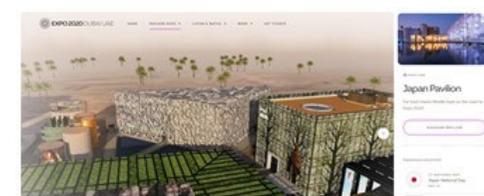
（実施場所）検討中

（実施主体）公益財団法人ユニジャパン

（予算）令和4年度予算額：110百万円



ドバイ博オープニングセレモニー



バーチャルEXPO上の日本館

## > 工程表



# 日本の工芸品の対外発信

連絡先 経済産業省製造産業局生活製品課

03-3501-0969

[https://www.meti.go.jp/policy/mono\\_info\\_service/mono/nichiyo-densan/index.html](https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/mono/nichiyo-densan/index.html)

## > 方針・実施概要

万博を契機とした日本の工芸品の対外発信を推進するため、伝統的工芸品をデジタル技術と連携して魅せる展示や、ライフスタイルの変化を踏まえた新たな工芸品と異分野連携、海外からの来訪者に向けた和装や邦楽器によるイベントの実施等を検討中。



## > 実装に向けた検討状況

(実施期間) 展示は、開催期間中の実施を想定。

(実施場所) 会場内での展示、実演等を想定

(実施主体) (一財) 伝統的工芸品産業振興協会等を想定

(予算) 令和4年度予算額：－

[https://www.meti.go.jp/policy/mono\\_info\\_service/mono/nichiyo-densan/index.html](https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/mono/nichiyo-densan/index.html)



## > 工程表

